

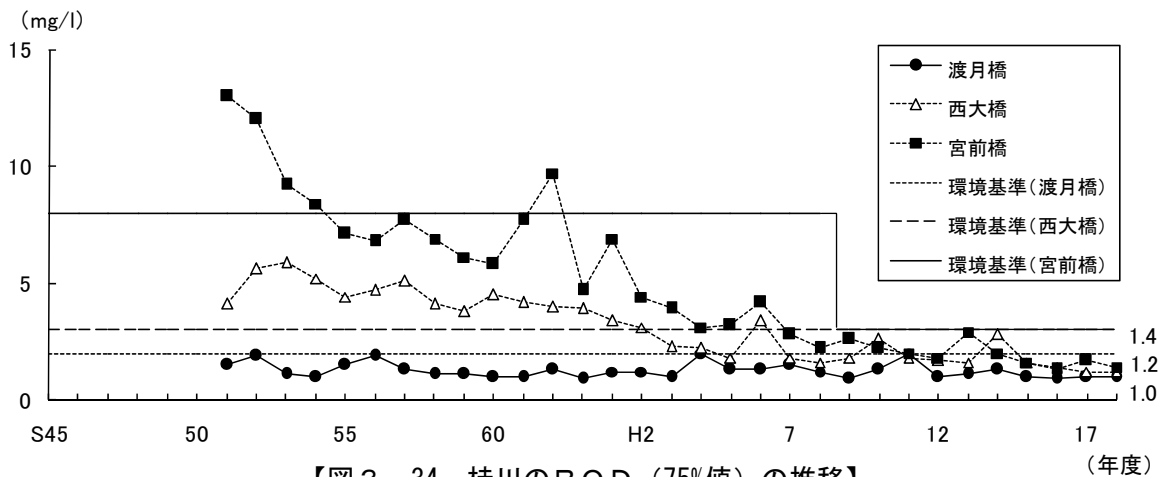
【図3-33 桂川上流のアンモニア性窒素（年平均値）の推移】

京都府「公共用水域及び地下水の水質測定結果」より作成
 詳細は資料3-11を参照

(2) 桂川

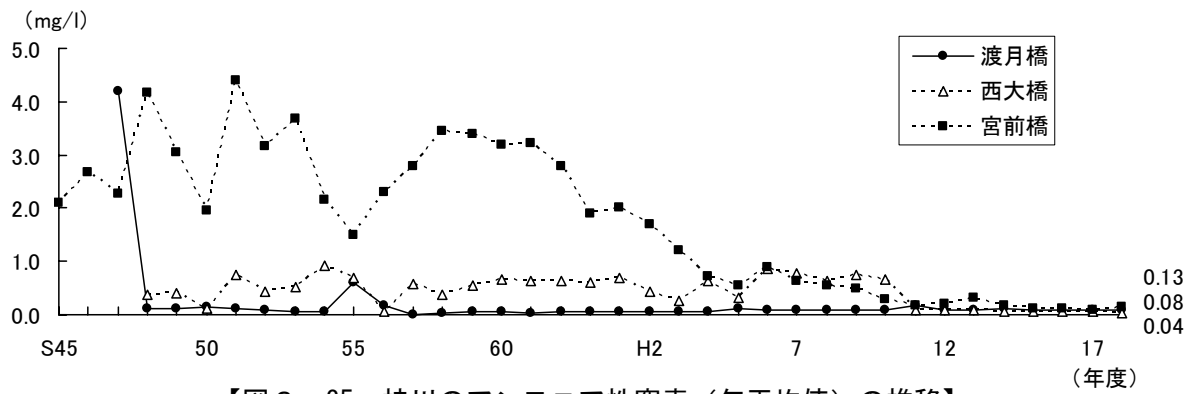
渡月橋のBOD(75%値)は昭和50年度から横ばい傾向を示し、平成18年度は1.0mg/lであった。西大橋では昭和53年度まで増加傾向であったが、その後改善されてきており、平成18年度には1.2mg/lとなった。宮前橋では汚濁の著しかった昭和50年代前半は10mg/l以上を示したが、その後改善されてきており、平成18年度は1.4mg/lとなった。いずれの地点も環境基準を下回っている。

アンモニア性窒素（年平均値）については、渡月橋は昭和47年度に4.20mg/lと高い値を示したが、それ以降はほぼ0.1mg/l前後で推移しており、平成18年度は0.08mg/lであった。西大橋では平成6年度以降ほぼ横ばいの状態で、平成18年度は0.04mg/lであった。宮前橋では昭和58年度に3.46mg/lであったが、京都市内の下水道整備と運転管理の改善等によりその後急速に改善され、平成5年度以降はほぼ横ばいで推移している。平成18年度は0.13mg/lであった。



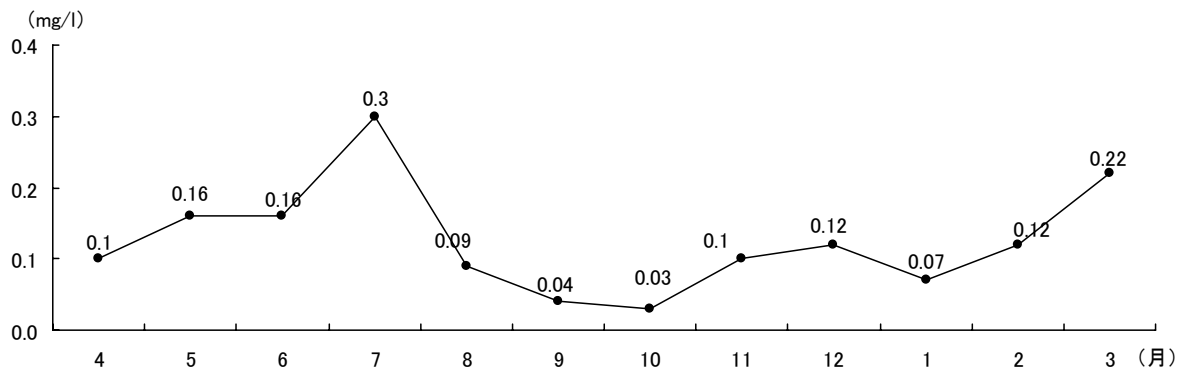
【図3-34 桂川のBOD（75%値）の推移】

京都府「公共用水域及び地下水の水質測定結果」より作成
 詳細は資料3-10を参照



【図3-35 桂川のアンモニア性窒素（年平均値）の推移】

京都府「公共用水域及び地下水の水質測定結果」より作成
詳細は資料3-11を参照



【図3-36 桂川（宮前橋）のアンモニア性窒素（平均値）の経月変化（平成18年度）】

京都府「公共用水域及び地下水の水質測定結果」より作成



【桂川（久世橋）】